

流通科学大学 体育会 サッカ一部



# HANDBOOK 2019



流通科学大学



# 2019年度 2部Aリーグ参加チーム

大阪学院大学  
同志社大学  
甲南大学  
大阪商業大学  
大阪教育大学

## 流通科学大学

京都学園大学  
関西国際大学  
神戸学院大学  
姫路獨協大学  
神戸大学  
大阪大学

NEWS



関西学生サッカーリーグ2018  
フェアプレー賞受賞  
フェアで強いチームに！





前期

**3勝7敗1分 10位**

得点17 失点29

警告 14枚 退場 1枚

※退場は警告2枚による



後期

**8勝2敗1分 2位**

得点 28 失点 13

警告 5枚 退場 1枚

**総合順位 6位**



## なぜフェアプレー賞を受賞できたのか (グループワークより)

- ・ミーティングによる意識改革
- ・全員の共通意識の徹底
- ・声を掛け合い共通理解

## フェアプレー意識してプレーしたことで...

- ・簡単に足を出さなくなった
- ・粘り強い守りができるようになった
- ・レフリーへの不満より、周りへプラスの声をかけるようになった

# 基本理念

---



## 自主性から主体性へ

- ・社会では体育会の学生は人気があります。しかし、実際は賛否両論で、スポーツだけをしている学生は対象外です。大切なことは日常生活で必要な「**ライフスキル**（以下LS: Life Skills）」をスポーツを通して学び、実社会で実践できるようにならなければなりません。そのためにも本学サッカー部では、この4年間でLS獲得に向けた活動を行い、主体的に取り組めるような人間形成に努めます。
- ・これからの時代に学生アスリートが社会をより豊かに生活するためには、人間力を高めなければなりません。そのためには、スポーツ活動を通して、生きる力に近いとされるLSを身につけていく必要性があります。

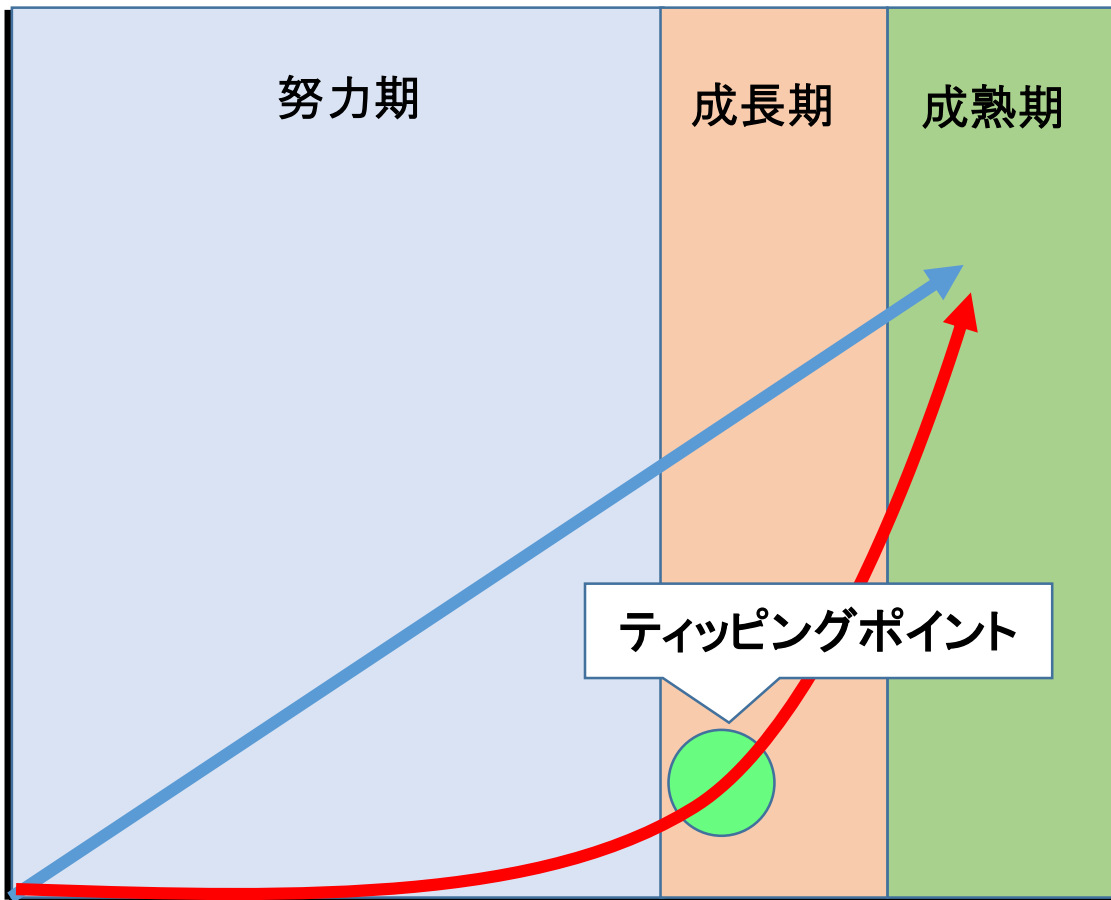
（ありがとうは天に届く唯一の言葉）

# 基本理念



## 自主性から主体性へ

### スキルの成長



# ライフスキルとは①

---



## 定義

「日常生活で生じるさまざまな問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な能力 (WHO, 1997) 」

LSは近年アメリカで急速に普及し、指導者も結果以前に、スポーツを通じて礼儀作法・挨拶などをしっかりと指導し人間力を高めることに力を注いでいます。本学では、社会で必要なスキルを身につけるべく活動を行っております。月1回程度の全体MTで知識の獲得だけでなく、活動を通して思想にしていくことが大切であると考えております。つまりは、あたり前の行動にしていく、ということです。



## 6. ライフスキルとは②



一流の指導者たちの実践的な経験をもとに見出した  
アスリートに求められるライフスキル  
(島本ほか, 2013)

目標設定

最善の努力

考える力

責任ある行動

ストレス  
マネジメント

礼儀・マナー

コミュニケーション

体調管理

謙虚な心

感謝する心

アスリートに求められるライフスキルは全部で10因子です。ライフスキルと競技能力は比例しています。これらの因子をバランスよく高め、競技能力を高めていきます。

ライフスキルは低いと絶対に勝てないことはありませんが、長い目で見た場合「**必ず負ける**」とされています。

# 活動方針

---



## “厳しく・激しく・楽しく”

2019スローガン

『より強く、より逞しく！さらにフェアプレーで！！』

本学サッカー一部では、しっかりと勝利にこだわった活動を行います。勝つことが全てではありませんが、勝つことに対して努力を惜しまず、全力で挑むプロセスこそが、心身を成長させてくれると考えているからです。学生スポーツは学生主導のもと運営がなされています。周りのサポートに「気づき」、感謝の気持ちで自らも積極的に関わっていくことこそが本来の学生スポーツの活動となります。そこには「やらされる」のではなく、活動に積極的に関わるのが求められます。それには「主体性」が重んじられます。大学では過去の経歴に関係なく、自身を鍛錬する者のみが上達しています。努力を惜しまず自分の可能性を広げていく姿勢は、先の人生において重要な指針となります。また、強くなりたい、勝ちたいという気持ちは、勝利するために何をしなければならぬのか、自ら考え工夫するようになります。上手くなりたい＝強さ、タフさを求めなければなりません。強さ、タフさはこの先の人生においても必ず重宝されます。強さは粘り強さや我慢強さなど、競技を経験することで役立つことはたくさんあります。タフさにおいても同様に、厳しい社会を乗り越えていける糧となります。その上で、我々は活動方針に掲げてあるように、厳しく・激しくトレーニングを行い、組織で強い相手に打ち勝つ楽しさを求めていきます。

# サッカーの要素



オフザピッチ60% サッカーのスキル30% 運10%

## 1. オフザピッチの強化(素直な心 ・ 謙虚な気持ち)60%

・技術以上に精神面の成長こそがサッカーを上達させ、人間力を向上させる。ここに最大限の力を集約させる気持ちで学生生活を送ってほしい。これが全てといっても過言ではない。サッカーに集中できる環境作りを各自で作りに上げる。基本となる生活習慣の安定を図ること。学生は授業をしっかり聞き、学んでいくことが基本である。その中でいかにサッカーに対する時間を確保していくかが求められる。意識を高め、時間と取り組みを工夫しなければ差はどんどんついていくものである。心が育たずして成長は望めない。目標達成のために、高い意識を持って辛抱強く全員で同じ方向に向かうこと。向かうところは当然頂点！

## 2. サッカーのスキルの強化(素直な心 ・ 謙虚な気持ち)30%

・いつも積極的にゴールをめざそう。ゴールという概念なしに攻守は構築できない。タフに闘い、仲間を鼓舞する声を積極的に出そう。**判断力**を高め、スピーディーな攻撃を仕掛け、積極的に前線から守備を行い、運動量豊富にスキのない組織を作りあげよう。

## 3. 運を育てる 10%

・日頃から行いを良くしていくこと。当たり前のことを行わなければ運は下がる。例えば整理整頓や靴・靴を揃えること等。また、運を育てることもできる。ゴミ拾い、挨拶や感謝の言葉、周りを笑顔にする行動。我々の活動方針である心・運・気をどのように意識するか、全てが頂点への一歩となり、ゴールへとつながっていく。

『素直な心』と『謙虚な気持ち』をもって 人と接する。  
『運を育てる』ことを怠らない。

# 部員心得 I



## 『己に克ち 礼に復る』(論語)

…自分の欲望に打ちかって人間として守るべき  
正しい道に従って行動すること。

### ◆集合時間

- ・余裕をもって行動すること。ギリギリに来ることのないように。  
これは道具や水の準備もすべて終わってさらに余裕を持てる時間帯を指す。  
(下積みをどれだけできるか)

### ◆服装・身なり

- ・全員チーム指定のウェアでトレーニングすること。
- ・学生らしい身なりで行動すること(茶髪・ピアス・ひげをのばすなどはしない)。

### ◆欠席・遅刻・早退

- ・遅刻・欠席の連絡の徹底  
(社会で通用しない・言語道断)

### ◆学業

- ・4年間での卒業は最低目標である。前期・後期最低各16単位以上をとること。  
2期連続で最低目標をクリアできない場合は、次の1期で単位を取るため活動を制限する。学生とは卒業後何をするのか、社会に出て自分がこれからどう生きていくのか将来のビジョンを自分で探していかなければならない。そのために周りのアドバイスや知識を活用し学問を追及していくことが大切である。

### ◆その他

- ・サッカーだけやっていたら良いという安易な考えでは、当然学生は務まらない。学業でも常に上をめざして取り組むことが大切である。これもサッカー同様最善の努力を行うことにつながってくる。頑張りや評価はする。何事にも努力しない人は見切りをつける。一生懸命全力を尽くさない者にチャンスは与えない。

# 部員心得 II

---



- ◆ 役員構成  
部の運営に下記の役員を置く  
主将 1名  
副主将 若干名  
主務 若干名(学連・リスペクト等担当含む)  
副主務 若干名  
その他 各係りを担当する。(全員が関わる)  
審判・分析・来客対応・総務・経理
- ◆ チームの約束事  
茶髪・パーマ・髭・ピアス等  
SNS等への部やその他の誹謗中傷、秘密漏洩。  
喫煙、その他規律を乱す行為。  
※著しく部の名誉を傷つけたり、部の規則や方針を乱した場合は除名する。
- ◆ その他  
関西学生サッカー連盟の主催する行事(観客動員)は必ず出席すること。これは、本学サッカー部に所属する＝出席の義務があるということを理解すること。  
また、学内の行事ごとやサッカー一部として学園が良くなるために率先して行動を起こせるよう努めること。